



令和6年4月20日

和

青梅市立吹上中学校 学校だより No.1

学校ホームページ：<https://www.city.ome.tokyo.jp/school/fukiage-j/>

令和6年度が始まりました。

今年度もよろしくお願いいたします。

校長 平岡 直実

令和6年度がスタートしました。保護者、並びに地域の皆様におかれましては、今年度も本校の教育活動へのご理解、並びにご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

また今年度は青梅市教育委員会より「青梅型コミュニティ・スクール」の指定を受け、子どもたちや学校を取り巻く環境、地域の実態を踏まえながら、学校と地域が継続的に連携していくための仕組みが充実いたします。今まで以上に地域とのつながりを大切に

著作権の関係で画像や挿絵は掲載できません。

した学校経営を進めてまいります。ご協力のほど、何卒よろしくお願いいたします。

4月8日（月）、2.3年生119名で1学期の始業式を行いました。それぞれが1学年進級し、これからの1年への決意を胸に、新たな出発を迎えることができました。始業式に臨む生徒一人一人の姿を見ると、明日入学してくる新入生に対しても、よき先輩として模範となれるであろう、本校の生徒スローガンにある「誇れる上級生」の姿を体現できるであろうと感じさせてくれました。

翌9日（火）、新入生74名を迎え入学式を行いました。担任の先生から一人ずつ名前が呼ばれるたびに、しっかりと、そして大きな声での返事が聞こえ、頼もしく感じました。また、2.3年生は静粛にそして和やかで温かみのある雰囲気を醸し出すことで入学式に花を添えてくれました。これで今年度の193名の生徒が揃いました。今後、先輩方が築いてくれた吹上中学校の伝統と校風を、さらに輝かしいものにしていくであろうとの期待が膨らみました。

コロナ禍もようやく収まり、落ち着いた雰囲気の中で令和6年度がスタートしました。これからも様々な教育活動を通して、「変化が激しい今を生き抜くために相応しい力」を身につけられるよう、教職員一同取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

【学校だよりのタイトル「和」について】

学校だよりに「和」というタイトルをつけました。「和」という漢字にはいろいろな意味があります。「やわらぐ」「仲良くなる」「穏やかになる」「一緒になる」など（「日本」をあらわす時にも「和」という漢字を使います）。「和」は私が教師になってから学級づくりや、学年づくりで心がけてきたことです。これからの学校づくりにおいても常に傍らに置き大切にしたい言葉として、学校だよりのタイトルにしています。なお学校だよりは毎月中旬頃発行いたします。